**UNIT 19**

Summary （　　）に適切な語句を補い，各段落の要約を完成させなさい。

１　導入

人間は①（　　　　　　）までとそれ以降で時間の間隔が大きく異なると言われる。（　①　）までに経験する膨大な時間は，その後の②（　　　　　　）以上の年月に匹敵する。

２　本論１

人生の最初の数か月は，異なる物体どうし，または物体と自分の区別がつけられない。つまり「③（　　　　　　　）のない状態」である。同じように，ある瞬間と次の瞬間を区別することができない。つまり「時間のない状態」を経験している。

３　本論２

７か月頃になると，世界と自分，異なる物体どうしを離れた別の存在として認識する「④（　　　　　　　）の感覚」が発達し始める。加えて，過去・現在・未来という連続した時間の間隔が発達する。これは次の４つの段階をたどる。第一に人々が来て出来事が⑤（　　　　　　　）ことを認識し，第二に人々が去り出来事が終わることを認識し，第三に人々や物体が動くと⑥（　　　　　　　）を進むことを認識し，第四に人々や物体間の（　⑥　）を測定できるようになる。

４　本論３

（　④　）の感覚が発達すればするほど，連続の感覚も発達する。結果として，自意識が発達するにつれて，時間が⑦（　　　　　　）過ぎると感じるようになる。

５　本論４

それでも，子供にとって時間は大人の何倍も⑧（　　　　　　　）過ぎる。先生にとっては短い40分の授業が，子供にとっては何倍も長く感じる。

６　本論５

幼い子供たちの時間感覚は⑨（　　　　　　　　）である。出来事の長さを正確に推測できない。秒単位で推測できるようになるのは６，７歳である。２～４歳の子供たちが出来事について話すとき，たいてい出来事を⑩（　　　　　　　　）でグループ分けし，その順序を混同する。

Class/ Number/ 　 Name/　　　　　　　　　　Point/

【解答】

①５歳　　②70年　　③空間　　④分離

⑤始まる　　⑥距離　　⑦速く

⑧ゆっくりと［遅く］　　⑨未発達　　⑩関連性［つながり］